



【先週 9月20日～9月26日の外食の出来事】

■ジョイフル最終赤字 過去最大 93 億円 閉店など構造改革 20年6月期

ファミリーレストランを展開するジョイフルの2020年6月期の連結業績は新型コロナウイルス禍で損失が膨らみ、最終損益は93億円の赤字と過去最大になった。収益改善が見込めない直営約200店を7月以降順次閉鎖する。

■くら寿司、台湾子会社上場。米国子会社とで、海外1500億円めざす。

くら寿司株式会社が、17日に台湾子会社を台湾証券市場 Taipei Exchange へ上場させた。くら寿司は、2014年に台湾に進出し、現在29店舗展開。売上高は約70億円。台湾を起点にアジアで200店舗体制を目標としている。

■「町田商店」などギフト、東証1部に昇格 家系ラーメンはコロナに強かった

「町田商店」など家系ラーメンの直営・プロデュースを行う株式会社ギフトが、18日付けでマザーズ市場から東証一部へ市場変更となった。10月期 第3Qで、コロナ禍にもかかわらず売上79億72百万円、19.8%増となった

■飲食業、8月までに583件倒産

東京商工リサーチは、2020年1～8月の累計で「飲食業」の倒産件数が583件(前年同期比13.2%増)に達したと発表した。これまで、通年で最多だった11年の800件を抜き、年間最多を更新する可能性が高まっている。

■米外食チェーン「シズラー」経営破綻 コロナの影響

アメリカで最も歴史のあるレストランチェーン「シズラー」が経営破綻。シズラーは、連邦破産法11条の適用を申請。アメリカの外食チェーンは、「カリフォルニアピザキッチン」など少なくとも9社が新型コロナによる影響で経営破綻。

■ドイツからデリバリー代行「フードパンダ」上陸 モンテローザ、即採用

ドイツの料理宅配会社デリバリー・ヒーローが、札幌市、横浜市、名古屋市、神戸市、広島市、福岡市の6都市で9月17日から順次稼働させている。日本進出に際し、まずは2千万ユーロ(約24億7000万円)を投じる。

■出前館、「シェアリングデリバリー」の取扱高が昨年対比4倍に

新型コロナウイルスの影響により、今年4月～6月の「シェアリングデリバリー」の取扱高が昨年対比4倍となる。「シェアリングデリバリー」とは、加盟する複数店舗で配達機能をシェアすることにより出前が可能になるサービス。

■土間土間、酒税改正で生ビール100円 20L生樽キープも

10月1日に施行される酒税税率改正に伴い、コロワイドグループが「土間土間」全店にて、9月26日(土)～10月14日(水)まで、アサヒスーパードライ生ビール(中)が何杯でも1杯100円になる生ビールフェアを実施する。

■Go To イート、オンライン予約は10月1日スタート

農水省は、Go To イートのオンライン飲食予約によるポイント付与を10月1日から全国でスタートさせる。参加飲食店の登録は、準備が整った予約サイトから開始。登録先に関する情報を掲載した公式サイトもオープンさせた。